久留米リハビリテーション病院　広報誌

２０２３．夏

NO.63

パレット
-Palette-

ご自由に
お持ち帰りください

～笹井眞砂子さまより～

CONTENTS

・院長コラム「久留米リハビリテーション病院の覚悟」
・季節のレシピ
・外来診察のご案内
・熱中症の予防について

当院のホームページ
もご覧ください。
https://www.kurume-reha.or.jp

理念

■必要不可欠
「地域と生きる」「地域を生かす」地域において必要不可欠な存在であること。
「あると便利」ではなく「ないと困る」組織作りを目指します。

基本方針

■全人的医療の提供に努めます。
説明と同意のもとに、個々の皆様の病状や人生観に合わせた尊厳ある医療を目指します。

■医療の選択性の確保と総合支援
皆様がご希望される医療機関等へのご紹介や、介護福祉関連サービスが継続して受けられるよう支援いたします。

■地域ネットワーク
地域における医療・介護・福祉の連携活動、交通事故重度障害者の支援事業、福岡県の介護予防事業、久留米市の包括支援事業などに対して、積極的に参加し支援していきます。

■自己研鑽
チーム医療を駆使した最新医療を提供するため日々自己研鑽に努めます。

久留米リハビリテーション病院の覚悟

当該法人は、初代柴田元龍正克（1841～1902 年：東京大学出身）が 1876（明治 9）年 3 月に当時の三井郡山本村において医療塾および医業を開始したことに端を発します。2 代目は柴田（旧姓：下川）藤之助（東京大学出身）。しかし 1905（明治 38）年 6 月 1 日に火の不始末から病院・自宅が全焼してしまったようです。その後再興に向けて努力し、1906（明治 39）年 4 月に兜山麓療養所を開設。その後 1951（昭和 26）年、3 代目 柴田崇（東京慈恵医科大学出身）が福岡県では当時珍しい医療法人格を獲得、1965（昭和 40）4 月に病院名称を「医療法人かぶと山病院」に変更しています。そして時代の流れの中で結核予防法は随時見直しが行われ、最終的には 2007（平成 19）年 4 月に結核予防法は廃止されることになります。

当院は時代の変遷を先取りして 1971（昭和 46）年、4 代目 柴田（旧姓：麻生）忠（久留米大学出身）の時代に、当時ではほとんど見られなかった療養型のリハビリテーション病院へ移行していきます。現病院長（柴田元）は久留米大学、大阪国立循環器病センター等で循環器科専門医として活動していましたが、病院継承を前提に、2 度にわたり英国、北欧で医療福祉の研修を行い、2 年後の 1997（平成 9）年 4 月に、久留米市のリハビリテーション医療をけん引していく覚悟で、病院名を「医療法人かぶとやま会　久留米リハビリテーション病院」に変更し、本格的なリハビリテーション専門病院への転身を目標としました。当時、多くの病院はリハビリテーションを医療とは考えていませんでしたが、現在では数多くの医療機関がリハビリテーション医療を提供するようになっています。その中で当院は 2000（平成 12）年 7 月に総合リハビリテーション施設を開設し、2 年後には回復期リハビリテーション病棟 42 床を開設、2004（平成 16）年 5 月に（財）病院医療機能評価機構の一般病院（Ver.4.0）認定、2016（平成 28）年 1 月には同機構の付加機能（リハビリテーション機能：Ver.3）の認定を受けました。そして現在では一般、療養、回復期の認定のほかに、高度専門機能リハビリテーション回復期の認定を取得するに至っています。

リハビリテーションに関する同認定医療機関は全国で 25 施設、福岡県下では 2 施設、久留米筑後地区では当院のみです（2022 年 2 月 2 日時点）。このように当院は常に時代の先端で活動してきましたが、2023 年度からは、さらなる先進・先端医療に取り組んでいく計画が進んでいます。秋ごろには新規事業の全容がわかりますので、あらためてご報告させていただきます。　また、2024 年度は診療・介護報酬同時改定が実施される予定です。2025 年度には初代が当地で医業を開始して 150 年目を迎えます。これもひとえに地元の皆様および職員各位のご理解とご協力のおかげと感謝する次第です。次世代への事業継承のため、2 年後の 2025 年度を目途に、小規模ながら地域医療の更なる充実とリハビリテーション医療に関しては国内でも有数の専門機関としての使命を果たせるよう努めていきたいと思っています。

以下に現在の医療法人かぶとやま会の事業をご紹介します。

今後ともよろしくお願い申し上げます

医療法人　かぶとやま会

2023 年 7 月 1 現在

＜＜久留米リハビリテーション病院　125 床＞＞

入院医療　：　一般病床　36 床

医療療養病床型　37 床

回復期リハビリテーション病床　52 床

外来医療　：　外来・通所・訪問リハビリテーション

（財）日本医療機能評価機構認定

一般病院Ⅰ・慢性期病院・リハビリテーション病院＜3rdG.Ver.2.0>

高度・専門機能：リハビリテーション（回復期）　Ver.1.0

日本リハビリテーション医学会研修施設

久留米大学病院臨床研修協力施設

久留米大学病院教育関連診療科

久留米大学整形外科・リハビリテーション科

福岡県筑後地区介護予防支援センター

国土交通省自動車交通事故医療体制整備事業協力病院

NASVA

<<かぶとやまエムエス有限会社>>

（病院関連施設）

むつみ小規模多機能施設

Hygge Yamamoto

ヒュッゲ　ヤマモト

（共生 Symbiosis と多様性 Diversity のまちづくりプロジェクト）

Grey Heron（多機能型障害者住宅）

Landsbyen Café（バリアフリーカフェ）

Symbi（就労継続支援 B 型）

Pixy の森（院内保育所）

Olive（ボランティア活動グループ）

R（久留米市介護予防・日常生活支援総合事業

元気向上通所サービス）

久留米リハビリテーション病院のホームページから YouTube「久留米リハビリテーション病院の取り組み」にアクセスいただきますと現在の活動に関する動画がご覧になれます。

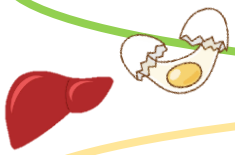
夏バテ解消に役立つ栄養素

たんぱく質

夏バテで疲れやすくなると、体からたんぱく質が多く消費されるので、しっかり摂取しましょう！
たんぱく質：魚、肉、卵、豆腐・納豆などの大豆製品、牛乳

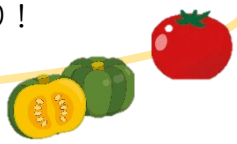
ビタミンB1・B2

糖質や脂質をエネルギーに変えてくれる素！不足すると倦怠感や食欲不振、口内炎などの症状がでることも
ビタミンB1 が多い食材：豚肉、うなぎ、枝豆、玄米
ビタミンB2 が多い食材：レバー、うなぎ、牛乳、卵



ビタミンC

暑さ・紫外線・ストレス・睡眠不足により消費が高まり、夏に不足しがちな栄養素。
ビタミンCはコラーゲンの生成に必要な栄養素で、疲労回復などの効果あり！
ビタミンCが多い食材：ピーマン、パプリカ、ゴーヤ、カボチャ、トマト



季節のレシピ

～暑い夏を健康に過ごそう！
栄養満点、フライパン１つで作れるおすすめレシピ～

★ アジと夏野菜のポン酢炒め ★

【材料】アジ ３枚おろししたものを４枚、調味料A(コンソメ 小さじ1/2、酒 小さじ2、生姜の搾り汁 小さじ1)
小麦粉 適量、サラダ油 小さじ4
玉葱 1/3 個(くし切り)、赤・黄パプリカ 1/3 個(短冊切り)、いんげん豆８本(4cm の長さに切る)
調味料B(コンソメ 小さじ1/2、ポン酢 大さじ1、水 大さじ1、砂糖 小さじ2)

【作り方】
① アジは３等分に切り、調味料Ａで 10 分下味をつける
② ①の水分を拭き取り、小麦粉をまぶし、フライパンに半量のサラダ油を熱しアジを焼く。
③ 焼き色がついたアジは取り出し、②のフライパンをきれいにして、残りのサラダ油を熱し、野菜類を強火で炒め、アジを戻し、調味料Ｂと炒めて完成。

アジの旬は初夏～晩夏！
筋肉をつくるもととなるのたんぱく質が豊富。
DHA・EPA などの体内で合成できない脂肪酸が豊富。
→血液サラサラ効果、中性脂肪やコレステロールを減少させる効果
ビタミン B 群が豊富

旬の食材を食べて、
元気いっぱい！

★ 夏野菜の挽肉カレー炒め ★

【材料】にんにく 1/2 片、オリーブオイル 適量、合挽肉 100g、塩･こしょう少々
野菜A(なす２本、ズッキーニ１本弱)、トマト 1/2 個、オイスターソース 小さじ2、カレー粉 小さじ1

【作り方】
① フライパンにオリーブオイルを引き、ニンニク、合挽肉、塩･こしょうをして中火で炒める
② ①に野菜Ａを加え、野菜に火が通るまで炒めたら、トマト、オイスターソース、カレー粉を加え混ぜて完成。

なす、ズッキーニは７月が旬！
高血圧の予防やむくみ対策に役立つカリウムが豊富！
お腹の調子を整える食物繊維が豊富
なすはポリフェノールが含まれており、免疫力や美容効果にも役立つ
ズッキーニにはビタミン C、カルシウムが豊富

外来診察のご案内

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	一般内科	院 長	副院長	院 長	一般内科	一般内科	休 診
	整形外科	泌尿器科	整形外科	消化器内科	整形外科	整形外科	
		糖尿病 内分泌			膠原病 ※第３週		
午後		皮膚科 ※14 時～					

健康診断・予防接種	予約制となっております。外来受付にお問い合わせください。

※青字 は予約制ですのでご注意ください。※外来リハビリテーションは午後も行っております。（予約制）

※午後の診察は、火曜日の皮膚科のみ行っています。

※急患及び紹介の場合は、午後でも診察は行っています。

※ご不明な場合はいつでもお問い合わせください。

熱中症について
特にこんな場合に要注意です！

- **休み明けなど、暑さに身体が慣れていない**（マスクしての作業）
- **内臓疾患がある**　・**睡眠不足、栄養不足**

熱中症予防行動のポイント♪

① 室内外の温度をこまめに確認しエアコンで適正な温度設定を！
換気扇や窓開放で換気を確保しましょう！

② 適宜マスクを外して休憩をしましょう！
外す際は周囲の人との十分な距離をとりましょう！

③ のどが渇くまえにこまめに水分補給をしましょう！
塩分補給も忘れずに。

④ 毎日 30 分程度の室内外での適度な運動を！
暑さに体を慣れさせましょう！

⑤ 日頃から体温測定・健康チェックをしましょう！
体調が悪いと感じたら近くの人に知らせ、無理はやめましょう！

医療法人かぶとやま会
久留米リハビリテーション病院
〒839-0827
久留米市山本町豊田 1887
TEL:0942-43-8033　FAX:0942-45-0388
HP: https://www.kurume-reha.or.jp
e-mail: k-reha@kurume.ktarn.or.jp

＜編集後記＞

７月 14 日より、この福岡で「世界水泳選手権 2023 福岡大会」が開催されます。大会関係者は約 200 ヵ国・地域より、約 2,400 名もの方々が来られるようです。天神ビッグバン計画の元、先月にはザ・リッツ・カールトン福岡も開業して、新しい福岡の姿が徐々に見えてきています。当院も地域の皆様と共に未来に向けて着実に歩んでいきます。